



発行所 東京薬科大学
新責任者 村上清貴

出席者は 510人

低迷の学生大会閉幕

後期学生大会は前期と違い、予算案のような「目玉」もない。議案が乏しい。毎年おきなりにありがちな、今年もそうであった。議場の座席を見て、もっさり後ろの床に、その原因を考えてみる。まず、学生が討議の内容にほとんど興味を持っていないことがあげられる。所属するクラブ等の関係で強制的に参加させられている人がほとんどなのだが、これが原因で多くの人が、議場にノットや参考書などを持ち込んで勉強したり、菓子類を食べたりしている。この類の状態では活発な討議が行えるはずがない。また、議案の内容が説明されている間、

七号議案
後期定期学生大会が開かれた。一、二年生を中心に五〇〇人の学生が参加し、討議が話し合われた内容は下記の通りである。

一 号議案
バス問題について

二 号議案
駐車場問題について

三 号議案
昭和六十二年度学生部学生専用四輪車用駐車許可証入手該当者の選定について

四 号議案
教務懇話会から

五 号議案
図書館について

六 号議案
多目的ホール（仮称）の設置

このままでは廃止も…

張は周囲の交通事情を悪化させるので「ムリ」という学校側の回答でこの問題をかたずけていく。もちろん交通事情が悪化は容易に想像できる。「一学校側がダメだと言ったから」では、高校までの生徒会

七号議案
昭和六十二年度新歓祭について

八号議案
昭和六十二年度監査委員について

このうち八号議案は、緊急動議として取り上げられた。キャンパス中、体育会系クラブを中傷するような噂を防止する方法について賛同があった。一体育会系のクラブは、今年ないという噂が流れ、今年の運動部への入部者が少なかつたこととを反映している。であろう。これに対して新歓祭実行委員長の前原君は、「そのような噂を流す上級生がいれば、その時点で撤去せよ」といふことを主張し、この方針

車を毎年問題に減っているにもかかわらず、減るどころか増える一方だ。この状況を見れば、違反駐車が多いのは駐車場のスペース自体に無理があるという考え方もできるのではないだろうか。それに對して自治会は、「駐車場の拡張

を示した。その他は、二号議案の駐車場問題で違反駐車への具体的な対処方法が開かれた。ただ、学生大会は平穩のうちに閉会した。

また、執行委員会では、学生大会を終わって次のように語っている。

例年通り参加人数が少なかった。また、後ろで遊んでいる人もいたし、トランプも少している人さえいた。質問も少

	出席者数	委任状数
1 年	218人	142人
2 年	242	79
3 年	49	206
4 年	1	0
計	510	427

学内連絡会議 開催決定

1987年1月14日午後5時から
参加希望者は執行委員会まで

交通安全講習会

1987年1月14日午後3時から
場所未定

この講習会に出席しないと来年度四輪駐車許可を受ける資格がなくなります。

東薬祭を振り返って

東薬祭運営委員会委員長 藤原 清一

八十六年度東薬祭も無事に終わり、皆様方も例年以上の収穫があったものと、委員一同確信しております。委員一として、今年度の東薬祭は十一月一日から四日まで行われましたが、あいにく天気が恵まれませんでしたが、詳細は学内報に書きましたが、一日の前後祭は、雨のため初めに体育館での開催となり、参加者の方々には大変御迷惑をかけたことと思います。しかし、委員全体がひとつになつて対処したところ、私はむしろ誇りに思っております。

お詫び

東京薬科大学新聞十一月二十月号に掲載予定の東薬祭運営委員長の挨拶が、手違いにより掲載もれしてしまいました。誠に申し訳ありません。また、ここに掲載させていただきます。

なかつた。議案について言うところ、駐車場などは全国どの大学でも問題になっており、また、解決している大学はほとんどない。非常に難しい問題なので、じっくりと考えていくしかない。ただし、違反駐車は今年に入って激増している。規則は早急に厳しくして、多目的ホールについては学生の特に実際に使うクラブの要望もよく聞きなさい。また、ホールについて的小委員会を設置することが決まっている。

ところで、雨天時のイベントや、模擬店の対処の方法など、数多くの課題が残されたが、今年度の東薬祭を振り返り、来年以降の東薬祭の飛躍を心より願っております。

最後に百二十名の東薬委員の諸君、本当にお疲れ様でした。